野生生物との共存

たとえ小さな庭であっても、そこはさまざまな生き物たちがすむ世界です。

土壌微生物、ミミズやダンゴムシなどの土をつくる分解者、生産者である植物、

それを食べる虫、そしてその虫を食べる肉食の虫や取り、カエルやトカゲなどの

小動物。それらによって生態系は形づくられ、バランスが保たれます。

バランスのとれた庭ならば、アブラムシが発生すると、それを食べるテントウムシなどの天敵がやってきたり、イモムシやケムシが発生すれば鳥がやってきます。

敬遠されがちな虫たちですが、薬剤で虫を駆除すると、その虫を食べる天敵も来なく

なり、生態系のバランスが崩れ、かえって病虫害を引き起こすことになりかねません。

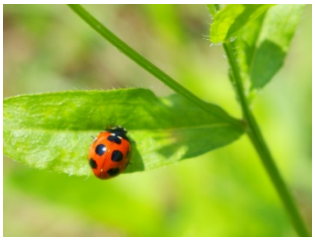
上手に虫たちと共存し、生態系のバランスの取れた庭作りをしましょう。

地域によって生息する生き物に違いはありますが、まずは、一般的に庭にいて欲しい生き物たちを知るところから始めましょう。

そして、彼らが好きな植物を植えたり、隠れたり冬越しする場所を用意してあげましょう。

テントウムシ

●テントウムシは最も有名な益虫です。ナナホシテントウ、ナミテントウはアブラムシを食べるテントウムシで一番よく見かけます。テントウムシの幼虫はグロテスクですが間違って駆除しないようにしましょう。

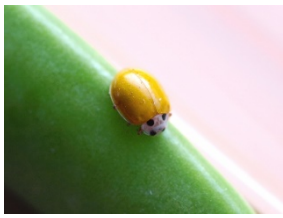


ナナホシテントウ
アブラムシを食べます。
草花を好みます。

ナミテントウ
アブラムシを食べます。
基本は黒地に二つの紋ですが、色や模様は多岐に及びます。
樹木に多いです。

ナナホシテントウの幼虫

●キイロテントウなどウドンコ病を食べるテントウムシや、アカホシテントウ、ヒメアカホシテントウなどカイガラムシを食べるテントウムシもいます。



キイロテントウ
ウドンコ病の菌を食べます。

ヒメアカホシテントウ
カイガラムシを食べます。

●テントウムシの天敵は寄生蜂やカマキリです。これら天敵から隠れる場所として下草を植えてあげましょう。また違う時期にアブラムシがつく色々な科の植物を植えることも有効です。

●テントウムシは成虫で集団で越冬します。越冬する場所は、落ち葉の下、石の隙間、樹皮の下などです。越冬できる場所を用意してあげましょう。

●それでもなかなかテントウムシが庭に来てくれないという場合は、捕まえてくるという手もあります。ナナホシテントウムシは、空き地や道端のカラスノエンドウやヨモギについているアブラムシを探せば見つけることができます。幼虫であれば逃げることもないので、産卵期の３月から６月に集めるのがおすすめです。

●注意しなければならないのは、ニジュウヤホシテントウ（テントウムシダマシ）などテントウムシによく似た草食の虫がいることです。
テントウムシとの判別方法としては、「体の点が多い。産毛が生えていてテカテカしていない。動きが遅い」という特徴があります。

ニジュウヤホシテントウ
ナス科の植物の葉や実を食べます。